

文章理解 現代文

要旨把握

次の文の主旨として、最も妥当なのはどれか。

かなり前から「これからはモノの時代ではなく、心の時代だ」と言われるようになった。そして新聞などの世論調査を見ても、「モノより心だ」という意識は顕著に表れてきているし、私もその方向性には共感を覚える。しかし繰り返し「心の時代」が説かれているにもかかわらず、私たちがいっこうに豊かさを感じることができないのは何故だろう。

それは「心の時代」の「心」が誰の心なのかという出発点に全く意識が払われていないからだ。「心の時代」の「心」が誰の心なのかと言われれば、それは「あなたの心」でしかありえない。「心の時代」とは私たちひとりひとりの心の満足が出発点になる時代のことなのだ。しかし、私たちの多くはこれまでのように「誰かが私たちの心を満足させてくれる方法を教えてくれるだろう」とか「心の時代の上手な生き方を示してくれるだろう」と思ってしまう。

あなたの人生のQOL、クオリティー・オブ・ライフは、あなた自身が自分自身の「生きる意味」をどこに定めるかで決まってくるものだ。評論家やオピニオンリーダーの言うことを鵜呑みにしてしまうのでは、それは既にあなたの人生のQOLではなくなってしまう。この混迷する世の中で、「あなたはこう生きろ!」「こうすれば成功する!」といった書物が溢れている。そして、自信のない私たちはそうした教えに頼ってしまいそうになる。しかし、「おすがり」からは何も生まれない。

「心の時代」とは、私の「心」「感じ方」を尊重しようという時代である。〈これが誰にとっても正しい「心の時代」の過ごし方だ〉などというものはない。自分自身の心に素直になって、自分がいま一番何を求めているのかに従って生き



文章理解 英文

内容把握

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Few wildlife spectacles in North America compare to the sight of bears gathered along streams and rivers to scoop up spawning\*<sup>1</sup> salmon. The hungry bears have long attracted attention, particularly from fishery managers, who in the late 1940s proposed their broadscale culling\*<sup>2</sup> in Alaska to reduce the "economic damage" the predators might be wreaking on salmon populations. In fact, several sensationalized reports implied that Alaska might fall into "financial and social collapse" unless the bear populations were controlled.

Fortunately, common sense came to the rescue, and the bear cull never came about. Scientific interest in the interaction between bears and salmon died down. Recently, however, researchers have discovered a new facet of this relationship, and the finding has radically changed notions about how the salmon, the streams and the bordering woodlands affect one another — and, naturally, notions about how they should be managed.

Our own contributions to this work have spanned more than a decade. During this time we have walked hundreds of kilometers along salmon streams, examined tens of thousands of salmon carcasses\*<sup>3</sup>, and had too many close encounters with agitated bears. Our findings surprised us : bears actually fertilize the forests, nourishing them by discarding partially eaten salmon carcasses. Not intentionally, of course, but the end result is that these large predators bring valuable marine-derived nutrients, in the form of salmon tissue, to the streamside woodlands, where the uneaten fish provide sustenance for an array of animals and plants. The flow of nutrients from ocean to streams to woodlands is an unexpected, even unprecedented, uphill direction for resources to travel. A close look at the life history of the predator and its favorite prey

## 問 1

### 文章理解 現代文

### 要旨把握

#### ■■ (正解) 5 ■■

出典 『生きる意味』 上田紀行 岩波書店

1 ×

「私たちは豊かさを感じることができない」に着目。第1段落にみられる表現だが、ここでは問題提起がなされているに過ぎず、本文の要旨ではない。

2 ×

「出発点に全く意識が払われていない」に着目。第2段落で、第1段落の問題提起への一つの結論として示されているが、以下に続く定義づけを導くための考察の一部をなすに過ぎず、本文の要旨とはいえない。

3 ×

第3段落中盤以降に指摘されている内容である。第2段落の結論、定義づけを踏まえ、現状に対する問題意識として示されている内容である。筆者の主張と対比される現状の記述であって、本文の要旨（筆者の主張）とはいえない。

4 ×

第3段落冒頭に指摘されている内容である。第4段落で示される定義づけに説得力を持たせ、強調するための考察であって、これ自体が本文の要旨ということとはできない。

5 ○

第4段落の「心の時代」の定義づけである。本文中の「自分の感じ方を尊重して生きていこうということこそが『心の時代』なのだ」という筆者の主張が踏まえられており、本文の要旨として妥当である。

#### 問 4

### 数的処理 数的推理

### 割合

#### ■■ (正解) 5 ■■

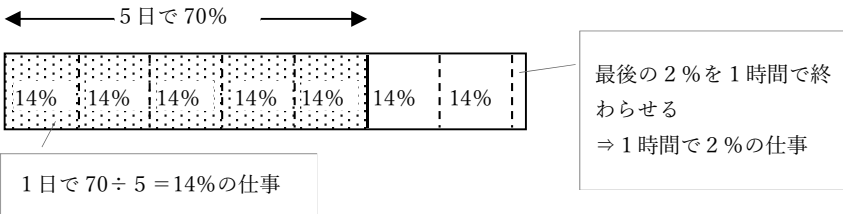
条件「5日間で受けた仕事の7割(70%)を仕上げた」より、Aは1日で、

$$70 \div 5 = 14 (\%)$$

の仕事をするのがわかる。したがって、Aは $5 + 2 = 7$ 日で、

$$7 \times 14 = 98 (\%)$$

の仕事をするため、最後の1時間で2%の仕事をしたことがわかる。



2%の仕事をするのに1時間かかるため100%なら  $100 \div 2 = 50$  時間かかる。  
50時間で45,000円を受け取ったため、時給は  $45000 \div 50 = 900$  (円) となる。

したがって、正解は肢5となる。